

# 団地再生と環境への取り組み

## 人と地球にやさしいまちづくり

まちづくり、住まいづくりを担うUR都市機構では、昨年、地球温暖化対策実行計画「UR-ecoプラン2008」を策定し、あらゆる分野、領域でCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。理事(技術コスト管理・調査研究等)細谷清が、ソーシャル・マーケティング・プロデューサーである澤登信子さんをお迎えし、団地における環境への取り組み方について対談を行いました。

### 対 conversation 談



#### 細谷 清 ほそや きよし

独立行政法人都市再生機構理事(技術コスト管理・調査研究等)、昭和48年横浜国立大学工学部卒業、昭和48年日本住宅公団入社。平成7年住宅・都市整備公団東京支社住宅事業第一部住宅計画第一課長、平成11年都市基盤整備公団本社居住環境整備部建設・建替計画課長、平成16年独立行政法人都市再生機構本社業務第二部長、平成17年東京都心支社長、平成20年7月より現職。

#### 澤登 信子 さわのぼり のぶこ

株式会社ライフ・カルチャー・センター代表取締役。ソーシャル・マーケティング・プロデューサーとして、地域おこしや都市生活者と農山村社会を結ぶ事業など、生活者の視点で企業、行政の関わり方をプロデュース。また、東京商工会議所が行っている環境社会検定(eco検定)合格者の環境活動を支援する、エコビープル支援協議会の事務局長、(財)アーバンハウジング理事を務める。

**第3の領域でのCO<sub>2</sub>削減が大切**

**細谷** 私が澤登さんと初めてお会いしたのは、確か昭和60年代初頭に当時の住・都公団が開いた「レディース住宅フォーラム」という女性有識者による懇談会だったと思います。このフォーラムの中で、21世紀にも通じる都市住宅を造っていくことという、都市住宅21モデルプロジェクトについて、完成した現地を案内し、ご意見を伺いました。当時、私は都市住宅21の担当者としてお話しさせていただきました。

その後、澤登さんはソーシャル・マーケティング・プロデューサーとして活躍され、エコロジーについて造詣が深いことを知り、お話を聞きたくて思っていました。まず、ソーシャル・マーケティング・プロデューサーとはどのようなお仕事なのでしょうが。

**澤登** 生活者の視点で、企業や行政とともに社会の課題を解決するためのシステムづくりをお手伝いするのが、主な仕事です。なかでも環境と福祉は、一企業の努力だけではなかなか解決しません。東京商工会議所では、率先して環境問題に取り組む人材を育成するために、環境社会検定(eco検定)という検定制度を実施しています。その検定に合格した人(通称「エコビープル」)がモノ作りや仕組み作りを円滑に行っているように支援しているのが、エコビープル支援協議会です。私は、そ

## C O N T E N T S

### 02 [特集対談] 団地再生と環境への取り組み

人と地球にやさしいまちづくり

澤登信子 株式会社ライフ・カルチャー・センター代表取締役

細谷 清 独立行政法人都市再生機構理事

### 07 UR Project Digest

温暖化対策

UR都市機構が取り組む地球温暖化対策

団地再生

緑地の保全と育成でまちと人と自然を結ぶ

ニュータウン事業

水と緑の環境軸を形成した環境共生型のまちづくり

### 13 都市の景観に四季を愛でる 4 春 四季の花々が香る丘……国営ひたち海浜公園 (茨城県ひたちなか市)

### 15 倉本聰の 地球に暮らす自然と住まう 4 本当の闇を知ること

### 17 ル・コルビュジエの描いた『輝く都市』Section 4 住宅は、家族の神殿、生活の宝石箱 染谷正弘(建築家)

### 19 Message 地球にやさしい街、住まい、暮らしに向けて 温暖化に強い住まい・まちづくりを 枝廣淳子(環境ジャーナリスト・翻訳家) 環境配慮型不動産が価値になる時代へ 伊藤雅人(不動産鑑定士・再開発プランナー)

### 21 UR TOPICS 編集後記